

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 高齢者の社会参画の促進
-----	---------------

施策主管課	高齢福祉課	総合計画記載頁	87ページ
-------	-------	---------	-------

1 施策の位置付け

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	2 高齢期の生活を充実する	政策の達成目標 (基本施策目標)	高齢者が、自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域で、健康で生きがいをもち、また、介護が必要になっても尊厳を保持しながら、安心して自立した生活を送っています。
------	-----------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

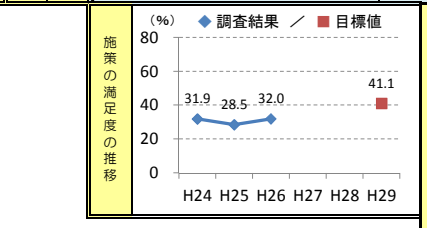
2 施策の取組状況

施策目標	高齢者一人ひとりが、地域の中で自らの知識や経験を生かしながら、元気に行動し、いきいきと暮らしています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	高齢者がボランティア活動へ参加している割合(%)	単年度目標値	—	—	11.0	12.0	12.5	13.0		A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	31.9%	28.5%	32.0%		
現状値			10.0%	実績値	—	—	10.8												
目標値(H29)			13.0%	単年度の達成度	—	—	98.2%												
指標2	みやシニア活動センター延利用者数(人)	単年度目標値	2,900	3,500	4,200	5,000	6,000	7,200	A	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B
		現状値	2,631	実績値	3,175	3,936	4,748												
		目標値(H29)	7,200	単年度の達成度	109.5%	112.5%	113.0%												
指標3	シルバー人材センター会員数 /65歳以上1千人	単年度目標値							A	【参考】中核市等との水準比較	中核市平均	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
		実績値	20.1	19.1	17.8														
		中核市での本市の順位	28位/41市中	23位/41市中	26位/42市中														
指標4	中核市平均	単年度目標値							A	中核市での本市の順位	中核市平均								
		実績値																	
		中核市での本市の順位																	

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況		総評価	83点
---------------------	--	-----	-----

施策を取り巻く環境等	少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少するなか、高齢者は地域における様々な活動の重要な担い手となっており、地域では、元気な高齢者が、今後、急増が予想されるひとり暮らし高齢者などを支える担い手として活躍することを期待しており、また、高齢者自身も、地域活動等に生きがいを求めている。
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標1に掲げた「高齢者がボランティア活動へ参加している割合」については、概ね目標値を達成した。また、平成26年度より新たに「高齢者等地域活動支援ポイント事業」を開始したことから今後増加が見込まれる。</li> <li>指標2に掲げた「みやシニア活動センターの利用者数」については、市民に身近な場所に出向き、みやシニア活動センターの周知を図ると共に、地域デビュー講座などの企画事業の充実を図ったことにより、目標値を上回る成果を得られた。</li> </ul>

市民満足度	高齢者人口の増加に伴い高齢者の価値観やライフスタイル、社会参画に関するニーズも多様化しているなか、一人ひとりの高齢者が、地域の中で自らの経験や知識を生かしながら、健康で生き生きと暮らすことができるよう「みやシニア活動センター事業」など各種事業による支援に取り組んできたことにより、施策の満足度については増加していると考えられる。	総評価	概ね順調
-------	--	-----	------

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	みやシニア活動センター事業	○★	・社会活動への参加を促す 仕組みづくり ・高齢者の就業支援の充実	シニア世代	総合相談、企画事業(定期講座・講演会等)、ネットワーク会議等の実施	計画どおり	3,949	H20	先駆的	多様化する高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりを支援できるよう、引き続き、まちづくりセンターや生涯学習センター、ボランティアセンターなどの関係機関・団体等との連携を図りながら、同センター事業の周知・普及に取り組んでいく。
2	高齢者等地域活動支援ポイント事業	○★	・社会活動への参加を促す 仕組みづくり	60歳以上の高齢者	高齢者等が取り組む「地域貢献活動」や「健康づくり活動」に対しポイントを付与し、貯めたポイントを介護保険料の納付やバスカード等の活動奨励物品などと交換する。	計画どおり	3,760	H26		高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりの促進に向け、平成26年10月からポイント付与について先行実施したところであり、平成27年度から、介護保険事業としてポイント交換も含め、事業を本格実施していく。
3	高齢者外出支援事業	○★	・高齢者の外出支援の充実	年度内に70歳以上になる高齢者	年度に1回の5,000円相当のバス乗車券等の交付(1,000円の自己負担あり)	計画どおり	93,027	H15		高齢者の外出を支援するために、引き続き、制度の周知に努めるとともに、域内交通の整備状況に合わせ、事業の選択肢の拡大を図っていく。
4	シルバー人材センター運営費補助金	○★	・高齢者の就業支援の充実	公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター(対象:概ね60歳以上での健康で働く意欲のある高齢者)	公益社団法人シルバー人材センターへの運営費の補助、活動場所の提供、業務委託	計画どおり	56,843	S55		今後、さらなる高齢者の増加が見込まれ、高齢者の就業機会の確保の必要性が高まることから、引き続き、当該団体が効果的・効率的な運営ができるよう、支援・指導を行っていく。
5	老人クラブ活動費助成事業	○★	・交流の場や交流機会の提供	単位老人クラブ(対象:60歳以上の高齢者)	活動費への補助金の交付	計画どおり	18,759	S39		老人クラブが多様化する高齢者ニーズに対応した魅力ある組織となるよう、引き続き、宇老連を通して単位老人クラブの活動内容の一層の充実を働きかけながら、活動の活性化に向けた支援を行っていく。
6	老人クラブ運営費助成事業	○	・交流の場や交流機会の提供	(財)宇都宮市老人クラブ連合会(対象:60歳以上の高齢者)	宇都宮市老人クラブ連合会への運営費の補助	計画どおり	3,905	S59		高齢社会のさらなる進展に伴い、地域における老人クラブの果たす役割は益々大きくなることから、その育成・支援を行う当該団体が一層効果的・効率的な運営ができるよう、引き続き、支援・指導を行っていく。
7	長寿祝記念品贈呈事業		・交流の場や交流機会の提供	満80歳、90歳、100歳到達者、市内最高高齢者	・対象者への敬老祝金の支給 ・対象者への祝詞及び記念品の贈呈	計画どおり	85,440	H10		社会状況の変化や高齢者のニーズを踏まえ、必要なサービスが提供できるよう、事業内容の見直しを検討していく。
8	敬老会開催共催負担金		・交流の場や交流機会の提供	地区社会福祉協議会(対象:75歳以上高齢者)	各地区での敬老会の開催支援、開催負担金の交付	計画どおり	84,737	S57		地域において、より多くの高齢者が参加し、高齢者との交流の場として活用してもらえよう、関係団体との連携を図りながら円滑に実施していく。
9	生きがいづくり推進事業派遣事業補助金		・学習・スポーツ活動・芸術活動の場や機会の提供	ねんりんピック(参加資格60歳以上)に出場する本市の栃木県代表選手	出場に係る費用の一部を補助	計画どおり	242	H14		高齢者の生きがいづくりや健康づくりを推進していくため、出場に係る費用の一部を負担することにより、大会出場機運を高めていく。

4 今後の施策の取組方針

		今後の方向性
課題	◆高齢者を取り巻く環境は変化しており、ニーズも多様化していることから、高齢者がいつまでも健康で、趣味や友人との交流などにより生きがいを感じることができ、また、積極的に社会参加できるよう、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」などの各種事業について、より多くの高齢者に利用いただけるよう、広く周知を図る必要がある。	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆高齢者一人ひとりが、地域の中で自らの知識や経験を生かしながら、元気に行動し、いきいきと暮らせるよう、高齢者の社会参画の仕組みづくりに取り組むとともに、高齢者の生きがいづくりの促進を図っていく。</p>
		<p>〈主要事業〉</p> <p>◆みやシニア活動センター事業 多様化する高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりを支援できるよう、引き続き、まちづくりセンターや生涯学習センター、ボランティアセンターなどの関係機関・団体等との連携を図りながら、同センター事業の周知・普及に取り組むほか、高齢者等の多様なニーズに応じた魅力ある事業内容や運営方法についても検討を進める。</p> <p>◆高齢者外出支援事業 高齢者の社会参画や生きがいづくりを促進するため、主要な公共交通機関であるバスを、移動手段として手軽に利用できるよう支援する事業であることから、引き続き、制度の周知を図るとともに、域内交通の整備状況に合わせ事業の選択肢の拡大を図っていく。</p> <p>◆高齢者等地域活動支援ポイント事業 高齢者の社会活動への参画を促す仕組みづくりに取り組むなか、平成26年度から開始したところであり、より多くの高齢者等に利用いただけるよう参加促進に向けた周知に取り組むほか、参加者の声を聞きながら事業の拡充に向けた検討を進める。</p>
		<p>〈その他個別事業〉</p>